

# 新冠町の歩みを年表と写真で紹介します

- 慶長年間 (1600頃) 新冠場所がはじまる。
- 寛政11年 (1799) 新冠場所は新冠会所と改められる。蝦夷地を北海道と改め、11力国86郡とし、この時日高国新冠郡と定まる。
- 明治4年 (1871) 淡路島主稲田邦植の支配下となるが、開拓使の直轄となる。
- 明治5年 (1872) 新冠郡を中心に2億余万坪の新冠牧馬場設置が決定される。新冠会所は新冠駅通所と改められる。
- 明治11年 (1878) 旧稲田藩士数戸が新冠に移住。本格的な開拓期に入る。
- 明治14年 (1881) 新冠郡高江村外10力村戸長役場が高江村(現在の新冠市街地)に設置される。この年を本町の開町の年とする。
- 明治18年 (1885) 日新小学校(現新冠小学校)が設置される。
- 明治21年 (1888) 新冠牧馬場が新冠御料牧場と改称される。
- 明治22年 (1889) 高江村の新冠郡各村戸長役場が廃止され、静内・新冠両郡戸長役場が下々方(現静内)に設置される。
- 明治34年 (1901) 村内の水田耕作者が増加する。戸長役場は再び静内と分かれ、新冠郡高江村外10力村戸長役場
- 明治40年 (1907)
- 大正12年 (1923) が高江(現在の新冠市街地)に設置される。
- 昭和2年 (1927) 2級町村制が施行され新冠村と改称される。
- 昭和4年 (1929) 役場庁舎(字本町)を新築する。
- 昭和11年 (1936) 新冠・節婦市街に初めて電灯がつく。
- 昭和22年 (1947) 泊津・共栄・東川の農家が乳牛を導入し、新冠酪農の基礎をつくる。
- 昭和23年 (1948) 新冠農業協同組合、新冠漁業協同組合が設立される。新冠御料牧場が農林省に移管され新冠種畜牧場となる。牧場の土地が全面解放され、入植に着手する。
- 昭和27年 (1952) 新冠開拓農業協同組合、農業共済組合、軽種馬生産振興会が設立される。高江駅が新冠駅と改称される。
- 昭和30年 (1955) 十勝沖地震発生。多大な被害を受ける。
- 昭和36年 (1961) 新冠川が氾濫、死者27名を出す。町制施行される。開町80周年記念式典が挙行される。
- 昭和41年 (1966) 日高判官館青年の家落成。
- 昭和46年 (1971) 町民スポーツセンター落成。
- 昭和48年 (1973) 日高軽種馬育成センター落成。電話が自動化となる。
- 昭和49年 (1974) 新冠ダムが完成。新冠発電所1号機の運転を開始する。
- 昭和50年 (1975) ハイセイコー帰町、種牡馬となる。



昭和58年 第1回判官まつり



昭和48年 電話が自動化となる



昭和30年代 大狩部自衛隊によるトド退治



昭和16年戦時中の高江

- 昭和51年 (1976) 町民憲章の制定、町花(ツツジ)町木(ヒガツラ)の制定、第1回駒まつり開催。町民センター落成。郷土資料館落成。
- 昭和55年 (1980) 開町100周年を迎える。判官館森林公園開設。老人憩の家、保健センター落成。
- 平成3年 (1991) 開町110周年を迎える。新冠町農業協同組合がスタート。
- 平成4年 (1992) 新冠中学校、大狩部小学校、新冠小学校、節婦小学校で自校調理方式学校給食が始まる。にいかつぷホロシリ乗馬クラブが発足。ナリタブライアン号、本町初の三冠馬に輝く。
- 平成6年 (1994) 西泊津で日高管内初の温泉が湧出。下水道一部で供用開始。レ・コード館、道の駅オープン。
- 平成8年 (1996) 新冠温泉「レ・コードの湯」がオープン。
- 平成9年 (1997) メロデー大橋渡橋式。役場新庁舎(字北星町)完成。
- 平成10年 (1998) ハイセイコー号馬像除幕式、ハイセイコーフェスティバルを開催。西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場オープン。
- 平成11年 (1999) 新冠温泉「レ・コードの湯」の入浴者数100万人を突破。台風10号が新冠を直撃、厚別川流域で死者4名が出るなど大きな被害となる。
- 平成13年 (2001) 戸籍事務の電算化がスタート。
- 平成14年 (2002) 天皇・皇后両陛下が日高の地方事情視察のため、初めて新冠町を訪問。
- 平成15年 (2003) 東川・美宇・太陽・若園・明和小学校が朝日小学校に、大狩部・節婦小学校が新冠小学校に統合される。
- 平成17年 (2005) 東日本大震災が発生。新冠町でも2mを超える津波を観測。認定こども園ド・レ・ミが開園。
- 平成18年 (2006) 開町130周年・町制施行50周年を迎える。
- 平成20年 (2008) 新冠町和牛センターが稼働。ピーマンの販売額が初めて5億円を突破する。
- 平成23年 (2011) 高波により、線路に土砂が流出し、JR日高線の鶴川く様似間が不通となる。
- 平成24年 (2012) レ・コード館が開館20周年を迎える。レコード100万枚目達成セレモニー挙行。
- 平成26年 (2014) 大雪によりビニールハウス等に被害。学校給食費の無料化スタート。
- 平成27年 (2015) 日高自動車道大狩部トンネルの貫通式が行われる。コントレイル号、無敗牡馬クラシック3冠達成。
- 平成30年 (2018) 開町140周年を迎える。
- 令和2年 (2020)
- 令和3年 (2021)